
第1回経営協議会 議事要録

日 時 平成22年4月30日(金) 13:30~15:50
場 所 「特別会議室」(本部棟2階)
出席者 田中議長, 西園, 山下, 清水, 石塚, 長岡, 菴谷, 泉, 柿内, 坂田, 福家, 村田
の各委員
陪席者 長地監事(森田監事は欠席)

議事に先立ち, 田中議長から, 経営協議会の開催に当たり挨拶及び今年度の開催予定について説明があった。

続いて, 各委員及び陪席者(監事)から自己紹介があった。

なお, 田中議長から, 国立大学法人鳴門教育大学経営協議会規則第5条第3項に基づき, 学長に事故があるときの議長として, 西園理事が指名された。

議 事

[◇: 委員の意見, ◆: 大学側の回答]

○ 審議事項

(1) 学長選考会議委員の選出について

田中議長から, 資料〔国立大学法人鳴門教育大学学長選考会議規則〕より, 同規則第2条第3号の規定に基づき, 経営協議会委員のうち学外委員の中から4人の委員を選出することについて説明があり, 互選の結果, 菴谷利夫委員, 柿内慎市委員, 坂田千代子委員, 村田隆紀委員の4人を学長選考会議委員とすることで承認された。

(2) その他

特になし。

○ 報告事項

(1) 平成22年度学長裁量経費活用方針の見直しについて

田中議長から, 資料〔学長裁量経費活用方針の見直しについて〕に基づき, 平成22年度学長裁量経費活用方針の見直しについて報告があった。

(2) 会計監査人候補者の推薦について

田中議長から、資料〔会計監査人候補者選任経過〕に基づき、会計監査人候補者選考会議から会計監査人候補者決定までの経過及び今後の予定について報告があった。

(3) 平成22年度入学者状況について

田中議長及び山下委員、清水委員から、資料〔大学院入学者選抜状況等〕に基づき、平成22年度の大学院及び学部の入学者状況について報告があった。

また、資料〔大学院学生充足率による国庫納付基準〕に基づき、入学者が一定の割合を下回った場合、それに応じた額の国庫返納が発生することについても併せて補足説明があった。

なお、報告の際に出された意見は以下のとおり。

- ◇ 入学辞退が多数であることについて、その理由（他大学を選んだ理由等）を調査する必要がある。
- ◇ 受験の併願については、県内外どちらの割合が多いか。
- ◆ 県外者の占める割合が多い。辞退理由等について、踏み込んだ調査を実施したい。また、奨学金、授業料免除等の要望もあるため、拡充策について検討したい。
- ◇ 私費外国人について、多数を受け入れるためのルートは確立されているか。
- ◆ 特段のルートはないが、協定校から留学生を受け入れている。
- ◇ 入学辞退については、辞退を申し出た際に窓口で調査すべき（辞退調査のルーチン化、生きたデータの聴取）。
- ◇ 学内からの進学者数が少ない。進学のための支援制度やインセンティブが必要ではないか。
- ◇ 遍路GPのような、地元の特性を教育に活かす取組が必要ではないか。
- ◇ 団塊世代等に対し「入学の目的」を明確にアピールすることで、退職教員を院生として多数取り込むことはできないか。

(4) 平成22年3月学校教育学部卒業生及び大学院学校教育研究科修了者の進路状況について

田中議長及び西園委員から、資料〔学校教育学部卒業生の進路状況等〕に基づき、平成22年3月の卒業・修了者における現段階での進路状況について報告があった。

なお、報告の際に出された意見は以下のとおり。

- ◇ これまでの「教員養成系大学における教員採用状況が厳しい」というイメージを払拭し、改善する必要がある。
- ◆ 需要と供給の関係もあるが、現在の教員採用の傾向を学生に伝えていく必要がある。
- ◇ 良好な教員採用の実績を、オープンキャンパス等で広く周知すべきである。

(5) その他

①科学研究費補助金の実績について

田中議長から、資料〔科学研究費補助金の実績〕に基づき、平成22年度（平成21年度申請）の科学研究費補助金の採択状況について報告があった。

以上の報告の後、学外委員との間で、以下のとおり意見交換があった。

- ◇ 鳴門市の教育に特徴を持たせたい。私見ではあるが、小・中学校の数学分野担当教員の教育力の底上げについて検討している。ついでに、大学として教育システムの開発やモデル授業等を実施できないか。それによって鳴門市全体の教育レベルが向上するとともに、大学の特色にもつながることになる。
- ◆ 研究開発学校等に対応するという仕組みはある（教育課程の弾力的な取組等）。
- ◇ 市、小・中・高等学校で恒常的に教育を展開する仕組みが必要となるが、各学校と大学の授業時間が重複する。人材を如何に確保するか等の課題もある。
- ◇ 数学系の教育に対して、鳴門教育大学の支援は考えられないか。
- ◆ 検討する。

.....

田中議長から、次回の経営協議会は平成22年6月8日（火）を予定している旨の説明があり、閉会となった。